

令和4年の赤潮発生概況

令和4年の広島県海域における赤潮発生件数は、県西部海域で1件、県東部海域で2件、合計3件（前年2件）であり、のべ発生日数は202日（前年161日）であった。

なお、漁業被害は発生していない。

【有害種の出現状況】

○シャットネラ属

6月上旬から9月中旬にかけて県東部海域で出現を確認し、最高密度1,817細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

○カレニア・ミキモトイ

7月上旬から9月上旬にかけて県東部海域で出現を確認し、最高密度25,200細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

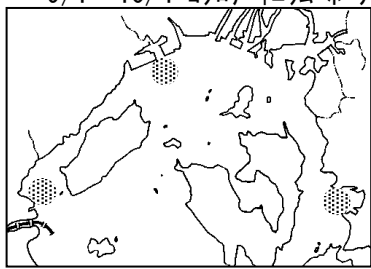
○コクロディニウム・ポリクリコイデス

8月中旬から10月上旬にかけて県西部海域で出現を確認し、最高密度425細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

令和4年度赤潮発生海域図

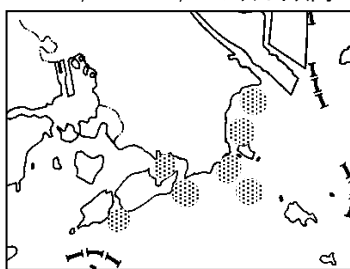
3) 県西部海域

9/1～10/4 コクロディニウム・ポリクリコイデス



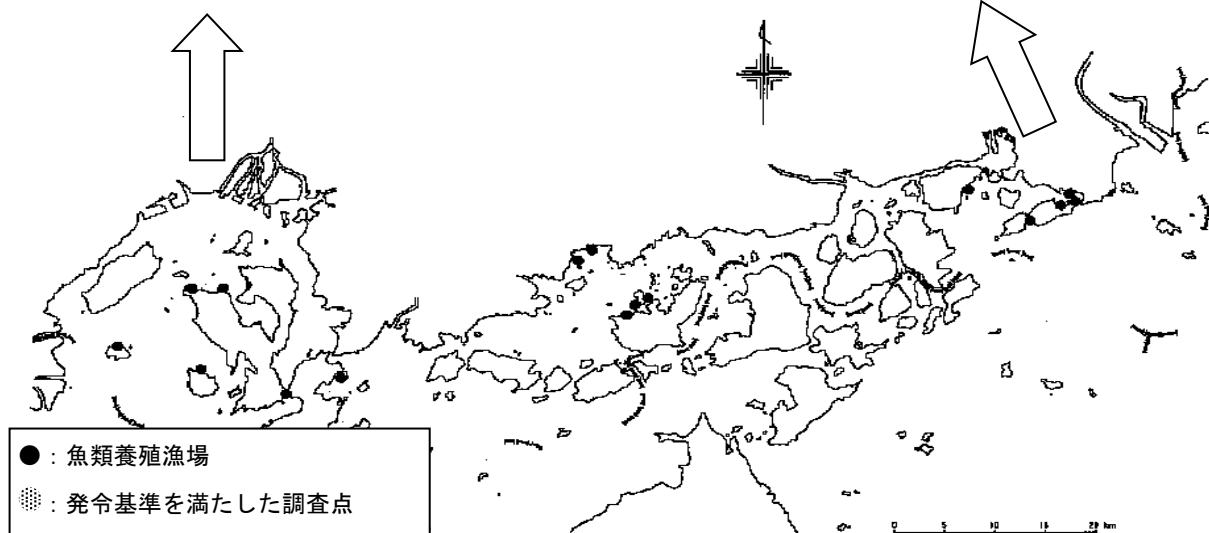
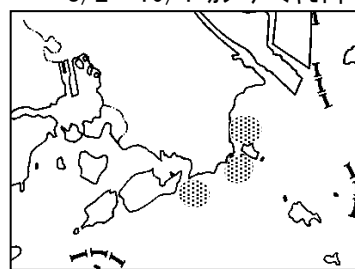
1) 県東部海域

6/23～10/4 シャットネラ属



2) 県東部海域

8/2～10/4 カレニア・ミキモトイ



- : 魚類養殖漁場
- ⊙ : 発令基準を満たした調査点